

夢に向かって



2018年度
厚木市立玉川中学校
第3学年通信
発行者：山口 しおり
9月28日(金)
-第5号-

大成功に終わった修学旅行！

今年度の修学旅行は、「温故知新」をスローガンに掲げ、奈良・京都へ行ってきました。落ち着いて活動する生徒たちを見て、さすが3年生という感じがしました。修学旅行を終え、「振り返り」の時間の中で書いてもらった「思い出・感想」からも目的を十分達成できたことが感じられます。

《 修学旅行を振り返って ～修学旅行実行委員長の言葉～ 》

私たち三年生は九月五日から七日の三日間、京都・奈良へ修学旅行に行きました。天候にも恵まれ、充実した三日間を過ごせました。

学校の授業の中で写真でしか見たことがなかったお寺や神社を目の当たりにして、すごく迫力を感じ直接歴史に触れた気がしました。

二日目の夜には座禅体験をしました。普段とは全く違う姿勢でじっとして足や腰が痛くなりましたが、良い汗がかけてとても貴重な体験でした。

修学旅行全体を通して自分勝手な行動をせず集団を意識すること、公共のルールやマナーを守ること、時間を見て行動することの大切さを学びました。一人一人が意識を高く持ちルールやマナーを守って、多くのことを学び、元気に楽しく過ごせたこの修学旅行は大成功だったと思います。この修学旅行から得たものをこれからの勉強や学校生活に生かし、より充実した日々を送りましょう。

《 生徒の感想より 》

<3年1組>

先生たちが言っていたとおりに修学旅行というだけで珍しい体験をしたのに、自分は班長として、班の人たち全員分の責任を任されたし、学級委員（修学旅行実行委員）として、クラスとしての責任を任せ、また、室長として、部屋の人の責任も任せ、修学旅行当日までは不安だったけれど、いざやってみると、色々な会議に出たりして、「班長」「室長」「実行委員」としてここへ来ているんだという自覚をもつことができ、こんな体験は二度とできないなと思い非常に意味のある修学旅行になってよかったなと思いました。

そして班行動では、班員と1日中生活する上で、人との関わり合い方を学んだし、他にもタクシードライバーの方や観光地にいる外国人など全く話したことのない人たちとも関わってよい体験だったと思いました。

<3年1組>

奈良で最も印象に残っているものは、ハト。細かくちぎった「しかせんべい」をあげると最初こわがって逃げたけど、だんだん近づいてきてくれて「シカセンバイ」を食べ始める。これがとてもカワイイなと思った。京都で印象に残っているものは、二条城だ。たくさんの工夫があり「他のお城はどうなっているのだろうか。」と気になってしまうぐらいすごかった。

私たちがいつも住んでいる厚木市。ここもすばらしいところだと思うが、1週間の半分もいない京都・奈良にここまで心が動かされるとは考えられなかった。なので、いつかきっともっと長い期間、京都にいきたいと思った。

<3年2組>

修学旅行の3日間で自分はたくさんの知らないことを知って貴重な体験をすることができたと思います。インターネットで事前に調べて、その場所のことが分かったつもりでいたけれど、実際にその場所に行ってみると行かなければ分からないことも多いと感じました。また、班行動では道に迷ったり、班から遅れをとったりし班に迷惑をかけてしまったりしてしまいましたが、やっぱり分からないことや困ったことがあれば、仲間と協力することが一番大切だと思いました。また、自分の知らない知識、特に寺や神社のマナーを知ることができてよい旅行だったと思います。

<3年2組>

班長として、班のみんなをまとめることが仕事だと思うけれど、僕は、周りを見ていなくて、たくさんの人に迷惑をかけてしまいました。僕はもっと用心深くなる必要があると思いました。1日目の奈良の東大寺から、3日目の京都の清水寺まで、沢山の歴史にふれ合って、昔の人でもこんなに大きいものを造れるのだと少し驚きました。タクシーの運転手さんのおかげで2日目の昼がマクドナルドではなく、和風・洋風レストランに行けたので良かったです。それに2日目はかなり時間が余ってしまったけれど、予定に入れていなかった寺などに連れて行ってくれたので良い思い出になりました。

<3年3組>

どの日もとても濃密なものになりました。1日目は、奈良で鹿と触れ合ってから国立博物館で像をたくさん見ました。2日目は1日班行動でしたが、伏見稻荷大社が一番思い出に残りました。おもかる石のところまでいったけれど鳥居は480本もありました。台風で鳥居が折れていたりしていたけれど、それでも迫力がありませんでした。

3日目は、清水寺や銀閣寺にいったけれど清水寺の坂を登るにつれて色々なものがあった歴史を感じることができました。3年間の集大成として文句なしの修学旅行になったと思いました。どの時間を見てもとてもいい時間になったと思います。

<3年3組>

修学旅行に行く前は、不安でした。ですが、班と積極的に行動することが出来たし、同じ部屋にいる人と楽しく過ごせたので良い思い出になりました。自分がずっと前から気になっていたものなど、友達と一緒に見たりしました。持ってきたカメラで東大寺など有名な場所など、とにかく自分が撮っておきたいものを沢山撮りました。金閣寺や歴史に関するものを見て思ったことは、とても勉強になったことです。

奈良は「ならまち格子の家」京都は「金閣寺」が一番興味深かったことは今でも覚えています。

中学で一番楽しい思い出になりました。班との協力性が深まったので、自分がやるべきことをちゃんと出来ました。

<3年4組>

奈良での鹿にせんべいをあげる体験はとても貴重であった。せんべいを買うまではそっぽを向いていたが、買った瞬間によってきて服をかんだり、頭でおしてきたりとせんべいを欲していた。とても賢い動物だと感じた。京都では様々な寺や神社を巡り、自分の知らなかったことがたくさんあり、歴史に驚いた。

金閣寺は教科書で見たときよりも迫力があつた、その時代の歴史を実感した。新幹線の中では、男女関係なく遊んだり、話したりして、クラスの団結力が深まっていた気がした。今回の修学旅行で培った団結力を10月の文化発表会までの練習に発揮すれば、今回の修学旅行はより成功したと言えるのではないかなと思う。

～ 学年主任より ～

3年生の大きな行事の1つである修学旅行。台風の影響が心配されましたが、無事、行うことができました。事前の準備から、3年生として、玉川中学校の生徒としての意識を高くもって、当日に臨んでいたと思います。「温故知新」のスローガンのもと、学年や係の中で一人一人がそれぞれに目標をもち、計画にそって、そしてルールを守って行動しようとする姿に3年生としての成長を感じました。そして、この修学旅行を経験して、さらに成長したことが、上にある「振り返り」からもうかがえます。とても良い修学旅行でした。

4月から半年。3年生としての自覚をもって、しっかりと活動してきた前期でした。残りの半年も、今まで学んできたことを生かして、毎日を大切に、充実した中学校生活を過ごしてほしいと願っています。